

八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。 **こっこめ通信** **05** **2004** 「潮だまりの“？”な生き物」号

4月は「東京からの日帰りツアー」などが企画され、たくさんの観光客が島を訪れました。ビジターセンターや植物公園も大にぎわいでした。

島でも春本番になってカラスアゲハやアオスジアゲハなど昆虫たちも大忙しです。ハチジョウノコギリクワガタの目撃情報もありました。さらにはカジイチゴ類やクワ、ヤマモモなどおいしい実も熟し始めています。こうなるとフィールドワークが楽しくなってきますね。

さて、今回は「植物公園内の可憐な花たち」と「潮だまりの不気味な生き物」のお話です。

植物公園内の可憐な花たち



ニフゼキショウ



タチイヌノフグリ



ヒナギキョウ



キュウリグサ



ヒメハギ



ルリハヨベ



マツハクラン



コケリンドウ

「アカコッコ」とは日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物にも指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

潮だまりの不気味な生き物

春になると潮だまりでたくさん見られる生きものがいるのを知っていますか？

「アメフラシ」の仲間です。このアメフラシの仲間は、今人気のウミウシの仲間で、巻き貝の一種になります。その証拠に背中中のヒラヒラ(側足)を開けてちょっと触ってみると少し固い部分があります。ここには薄く、とても平らな貝殻があります。(写真下中央)

アメフラシを見たことがある、聞いたことはあるという人は多いかもしれませんが、触ったことがあるという人は少ないかもしれません。どうして触らないか？それは見た目がとっても不気味だから手が出ないのかもしれませんが。怖がらずに触ってみてビックリ！煙幕のように紫の汁を出します。この紫の汁を出すことは知られていますが、中には白い汁を出す種類もあります。あまりプニョプニョして煙幕を出すからといって触りすぎるとアメフラシがかわいそうなのでほどほどに！

また、アメフラシの近くをよく探すとラーメンのような物が岩に張り付いているかもしれません。これはアメフラシの卵です。(写真下右)「ウミゾウメン」などとも呼ばれていますが、決して食べないでくださいね。

もう一つアメフラシの不思議な生態があります。雌雄同体の生き物で、雄でもあり雌でもあるわけです。そのため何匹も繋がって交配することもあります。しまいには輪になってしまうことがあるかもしれません。

島にはたくさんアメフラシの種類がいます。代表的なアメフラシの仲間の見分け方を調べてみました。気軽に観察できるアメフラシの仲間、潮だまりにたくさんいるので出かけて触ってみてください。



アマクサアメフラシの交配



アメフラシの仲間



ピワガタナメクジ



ミドリアメフラシと卵塊



アメフラシ

	側足の癒着	分泌	貝殻	島での記録	その他の特徴
アメフラシ (<i>Aplysia kurodai</i>)	×	紫	有	○	黒っぽい体に白いライン (大型)
アマクサアメフラシ (<i>Aplysia juliana</i>)	○	白	有	○	茶色に薄く白い大きな斑模様 (中型)
ミドリアメフラシ (<i>Aplysia oculifera</i>)	×	紫	有	○	黄土色に小さな黒いゴマ模様 (小型)
クロヘリアメフラシ (<i>Aplysia parvula</i>)	○	紫	有	○	体は茶色や黒で側足の縁が黒い (小型)
サガミアメフラシ (<i>Aplysia sagamiana</i>)	○	紫	有	?	頭触手が大きい、他は不明 (中型)
ジャノメアメフラシ (<i>Aplysia dactylomela</i>)	○	紫	有	○	蛇の目模様 (大型)
ショウワアメフラシ (<i>Aplysia extraordinaria</i>)	?	紫	有	?	側足を使って優雅に泳ぐ (中型)
ゾウアメフラシ (<i>Aplysia gigantea</i>)	○	紫	有	○	側足を使って泳ぐ (大型)
クロスジアメフラシ (<i>Stylocheilus striatus</i>)	○	紫	無	○	黒いスジが入り、ピンクの斑点 (小型)
タツナミガイ (<i>Dolabella auricularia</i>)	○	紫	有	○	扇形、潜っている (大型)
フウセンウミウシ (<i>Notarchus punctatus</i>)	○	出さない	無	○	体を丸め、球形になる (小型)
ピワガタナメクジ (<i>Dolabrifera dolabrifera</i>)	○	白	有	○	琵琶の形、岩の下など (中型)



ミドリアメフラシ

側足の癒着部種の判別利用できます。



アメフラシの仲間の貝殻



アメフラシの仲間の卵塊

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は4月11日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成16年第4回）

平成16年4月11日（日）13時30分～15時

参加者・伊藤、菊池（昭）、浅野、永井、V.C. 菊池 合計4名

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			37	コケリンドウ	花
1	カタバミ	花	38	スズメノヤリ	花と実
2	ムラサキカタバミ	花	39	ヒメハギ	花
3	オランダミミナグサ	花	40	オオニワゼキショウ	咲き始め
4	シロバナマンテマ	咲き始め	41	オオバコ	花と実
5	タチイヌノフグリ	花と実	42	コメツブツメクサ	花
6	オニタビラコ	花	43	ハチジョウテンナンショウ	花
7	カラスノエンドウ	花と若い実	44	トウバナ	花
8	ヒナギキョウ	花	45	スズメノテッポウ	花
9	オオアレチノギク	蕾	46	シバ	花
10	スズメノエンドウ	花と実	47	キュウリグサ	花
11	イワニガナ	花	48	コマツヨイグサ	花
12	ヤエムグラ	蕾	49	ヒメコバンソウ	花
13	スズメノカタビラ	花と実	50	ニワホコリ	花
14	ツメクサ	花	51	ハハコグサ	花
15	コナスビ	花	52	ミゾイチゴツナギ	花
16	アツバスマシ	花	53	ムニンキケマン	花
17	ノミノフスマ	花	54	ハキダメギク	花
18	ヌカボ	花	55	カスマグサ	花
19	ハナイバナ	花	56	ムラサキサギゴケ	花・3年ぶりに確認
20	ノゲシ	蕾	57	シロノセンダングサ	花と実
21	タネツケバナ	花と実	木本		
22	チチコグサ	蕾	1	カジイチゴ	花
23	マツバウンラン	花	2	トベラ	蕾
24	ハルジオン	花	3	ヒサカキ	若い実
25	キランソウ	花	4	オオシマザクラ	若い実
26	トキワハゼ	花	5	アオキ	花と実
27	ルリハコベ	花	6	マンリョウ	熟した実
28	ウスベニニガナ	花	7	ハチジョウクサイチゴ	花と若い実
29	セイヨウタンポポ	花	8	クワ sp.	雄花
30	ウラシマソウ	花	9	ヤマモモ	若い実
31	シチトウスミレ	花	10	スダジイ	花・速い
32	タケダグサ	花	11	エノキ	花
33	アシタバ	花と実・狂い咲き？	12	タブノキ	花
34	オオシマカンスゲ	実	13	ヤナギイチゴ	若い実
35	アオスゲ	実	今回は60種の植物を観察しました。		
36	チチコグサモドキ	蕾			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は「ハチジョウノコギリクワガタ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウノコギリクワガタ *Prosopocoilus hachijoensis* Nomura

体色は黒が濃く、まれに赤い個体もみられます。ふ節が短く、大腮（アゴ）の発達が悪く、上翅（腹部）の発達が著しい。他のノコギリクワガタとは樹液に集まらないことや潜洞性（土に潜る）であることなど、かなりの違いが見られます。地上での活動時期も5月～6月とかなり短く、夏にはいなくなってしまう。

2004 5 八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時間は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時間です。左側が満潮時間、右側が干潮時間です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
30 ガイドウォーク 01:39 08:14 14:28 20:09	31 02:16 08:55 15:32 21:04		 この色の日は 特別行事があります			ガイドウォーク 1 GW特別行事 草木染体験教室 02:58 09:07 14:50 20:58
2 GW特別行事 ・バードウォッチング入門 ・草木染体験教室 ・海岸を歩こう 03:23 09:36 15:44 21:43	3 GW特別行事 ・早朝探鳥会 ・バードウォッチング入門 ・草木染体験教室 03:49 10:07 16:34 22:23	4 GW特別行事 ・バードウォッチング入門 ・草木染体験教室 04:15 10:41 17:22 23:02	立夏 5 GW特別行事 ・バードウォッチング入門 04:42 11:17 18:12 23:40	6 05:10 11:56 19:03	7 05:39 00:16 19:57 12:38	8 ガイドウォーク 06:10 00:54 20:56 13:23
9 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会 06:44 01:35 22:05 14:13	10 07:22 02:27 23:26 15:12	11 03:54 08:14 16:24	12 00:43 06:16 10:02 17:48	13 01:36 07:46 12:34 19:07	14 02:13 08:32 14:11 20:09	15 ガイドウォーク 02:42 09:06 15:15 20:58
16 ガイドウォーク 03:08 09:37 16:04 21:38	17 03:33 10:06 16:46 22:14	18 03:58 10:35 17:25 22:48	19 04:23 11:05 18:02 23:19	20 04:48 11:36 18:37 23:50	小満 21 05:15 12:08 19:13	22 ガイドウォーク 八丈学講座 「流人仙次郎の 仕事を見る1」 05:41 00:19 19:49 12:41
23 ガイドウォーク 06:09 00:49 20:27 13:16	24 06:37 01:21 21:10 13:55	25 07:09 02:00 22:02 14:39	26 07:51 02:59 23:03 15:31	27 09:03 04:33 16:36	28 00:05 06:20 11:09 17:51	29 ガイドウォーク 00:57 07:28 13:06 19:05

イベントプログラム

GW 特別行事 「草木染め体験教室」	アシタバを使って絹のハンカチを黄色に染めます。 5/1～4（毎日）（13:30～ 約1.5時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンターにて 参加費：800円 定員：10名
GW 特別行事 「バードウォッチング入門」	双眼鏡の使い方からの入門コース。アカコッコを探しに行きましょう。 5/2～5（毎日）（10:30～ 約1.5時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ビジターセンターにて 参加費：無料 定員：15名
GW 特別行事 「海岸を歩こう」	海岸近くの植物や鳥などを観察しながら海岸をのんびりと歩きましょう。 5/2（雨天順延4日まで）（13:30～ 約2時間） 小学生以上 現地集合・解散（当日決定） 参加費：100円 定員：15名
GW 特別行事 「早朝探鳥会」	朝のホタル水路で、春に渡ってきた鳥や島を代表する鳥を観察しましょう。 5/3（雨天順延5日まで）（6:30～ 約1.5時間） 小学生以上（低学年は保護者同伴） ホタル水路集合・解散 参加費：100円 定員：15名
植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 5/9（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名
八丈学講座 「流人仙次郎の仕事を見る1」	毎月行っている八丈学講座。今回は、流人・仙次郎の残した物を見に行きます。 5/22（13:30～ 約1時間半） 中学生以上 ビジターセンター集合・解散（雨天中止） 参加費：100円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です	

東京都八丈ビジターセンター 2004.5.1 第36号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

（ホームページでは「こっこめ通信」をカラーで見ることができます）

編集後記

日が高くなって、晴れの日には日焼けしてしまうほどです。潮だまりのアメフラシを観察に行く時は、日焼け対策をしっかりとしないと大変なことになります。水面の照り返しも日に焼けますよ！（高）